

■取組方針フォローアップ【大淀川上流、大淀川下流、小丸川】

(1) 水害に強い人づくりの推進

【取組状況】全機関で、概ね積極的に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	大淀川上流		大淀川下流			小丸川		3協議会		
		都城市	宮崎市	国富町	綾町	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川	
①川を通じたコミュニティづくりの推進	継続		○	○	○		○	○	/	○	
②防災学習の推進	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
③自主防災組織の結成と積極的活動	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
④防災リーダー(地域防災士、水防団等)の育成	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑤住民が利用しやすい洪水ハザードマップの作成(※)	【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 【小丸川】H30年度	○						/	/	/	

(※)最大規模洪水を対象とする。

<主な取り組み内容>

①について

・大淀川の学習体験の推進事業<宮崎市>・漁協連携(稚魚放流)<国富町・綾町・木城町>・水辺のモニター<宮崎県>・川づくり交流会、水質調査、河川協力団体意見交換<宮崎河川>

②について

・高校生防災教育<都城市>・市民参加型訓練、企業連携による非常食の備蓄啓発、地域防災コーディネーター配置(消防職員OB)、防災教育手引きの活用推進<宮崎市>・自主防災リーダー研修会<国富町>・土砂災害防災教室<宮崎県>・宮崎県教育庁と連携した防災学習<宮崎気象>・防災ラジオ放送<宮崎河川>

③について

・合同防災訓練(HUG、水防訓練)<都城市>、・女性消防団員設置・活用<宮崎市><国富町>・自主防災組織育成、補助金案内、消防団装備等の充実<高鍋町>・各消防団が地域の集会等において啓発<木城町>・企業防災訓練や研修会への防災士派遣<宮崎県>・川の防災情報チラシ配布、防災訓練<宮崎河川>

④について

・防災士登録手数料助成<宮崎市>・防災士ネットワークとの連携<各機関>・自主防災リーダー研修会<国富町>・樋門操作説明会、水閘門点検<宮崎河川>

⑤について

・想定最大洪水ハザードマップ作成<都城市>
(最大規模洪水に対する取り組みは、各機関において、H29年度から進められる予定。)

(2) 情報伝達のための環境づくりの推進

【取組状況】 全機関で、概ね取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	大淀川上流	大淀川下流			小丸川		3協議会		
		都城市	宮崎市	国富町	綾町	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①要配慮者を考慮した避難・誘導の取組の推進	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②避難勧告等の発令の基準化及び「避難準備情報」の活用	H29年度	○	○	○			○	○		○
③迅速かつ確実な防災情報・避難情報伝達及び手段の多様化	継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④学習会等による災害情報の共有(※)	【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 【小丸川】H30年度	○						/	/	○

(※) 最大規模洪水を対象とする。

< 主な取り組み内容 >

①について

・要配慮者名簿の個人情報取扱等に関する条例制定<都城市> ・名簿更新<各機関> ・各会議の場を利用した避難支援体制の構築協力<宮崎市> ・社会福祉施設等と福祉避難所の協定締結・連携<宮崎市><国富町><高鍋町><木城町> ・女性消防団員による独居老人訪問、避難助環境整備<綾町> ・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県><宮崎気象><宮崎河川>

②について

・体制整備へのタイムラインの活用<都城市>
・タイムラインを活用した災害図上訓練の実施及び検証<宮崎市・宮崎県・宮崎河川>

③について

・広報誌掲載<都城市> ・防災メール登録、テレビ、ラジオ<宮崎市> ・デジタル防災行政無線導入予定<綾町> ・無線告知システム(全戸設置)を活用<木城町> ・イベント時「川の防災情報チラシ」配布<宮崎河川>

④について

・想定最大洪水ハザードマップ作成<都城市> ・消防署が各地区出前講座<国富町> ・浸水情報看板「まるごとまちごとハザードマップ」設置<宮崎河川>
(最大規模洪水に対する取り組みは、各機関において、H29年度から進められる予定。)

(3) 水害に強いまちづくりの推進

【取組状況】平成29年から取り組みを進める事としているものの、一部機関においては既に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	大淀川上流	大淀川下流			小丸川		3協議会		
		都城市	宮崎市	国富町	綾町	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①都市計画による開発抑制、土地利用規制、災害危険区域の指定等適切な土地利用への誘導(※)	H29年度以降	○						/	/	/
②安全な避難路・復旧路の整備(※)	H29年度以降							/	/	/
③安全な避難場所の確保(※)	【大淀上】H29年度 【大淀下】H32年度 【小丸川】H30年度	○						/	/	/
④高齢者等利用施設等における自主的な避難確保・浸水防止の取組の促進	継続		○					○	/	○
⑤排水ポンプ車による排水計画の策定(※)	H30年度	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(※)最大規模洪水を対象とする。

<主な取り組み内容>

①について

(各機関において、H29年度から進められる予定。)

②について

(各機関において、H29年度から進められる予定。)

③について

・指定避難場所の見直しを実施<都城市> ・民間福祉施設を避難所として指定<木城町>
(各機関において、H29年度から進められる予定。)

④について

・要配慮者利用施設管理者防災説明会<宮崎県・宮崎気象台・宮崎河川>

⑤について

(各機関において、H29年度から進められる予定。)

(4) 水害に強い防災拠点づくりの推進

【取組状況】平成29年から取り組みを進める事としているものの、一部機関においては既に取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	大淀川上流	大淀川下流				小丸川		3協議会		
		都城市	宮崎市	国富町	綾町	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川	
①浸水時にも活用できる水防倉庫、アクセス路の整備(※)	【大淀】H32年度 【小丸】H30年度										
②浸水時における公共施設、ライフライン等の機能維持対策(※)	H32年度	○									○
③防災ステーション等防災拠点の整備(※)	H32年度	○									

※最大規模洪水を対象とする。

<主な取り組み内容>

①について

(各機関において、H29年度より進められる予定。)

②について

・業務継続計画へ記載<都城市>
(各機関において、H29年度より進められる予定。)

③について

・早水運動公園、高城運動公園の整備<都城市> ・中央コミュニティーセンターの建設<国富町> ・町内各自治公民館を年次的に整備<綾町> ・津波避難タワー建設着手<高鍋町>
(各機関において、H29年度より進められる予定。)

(5) 被害を最小にするハード整備

【評価】直轄河川区間において、取り組みが進められている。

主な取組項目	目標時期	大淀川上流	大淀川下流			小丸川		3協議会		
		都城市	宮崎市	国富町	綾町	高鍋町	木城町	宮崎県	宮崎気象	宮崎河川
①洪水を安全に流すためのハード対策	継続									○
②危機管理型ハード対策	H32年度									○

<主な取り組み内容>

①について

・パイピング対策、侵食対策、津波高潮対策、河道掘削を実施中

②について

・ねばり強い堤防対策実施中

【平成29年5月26日 幹事会 アドバイザー:杉尾先生からのコメント】

- 約 11 年前、防災士の数が少なく防災学習が進んでいない課題があったが、現在は防災士の数も増え、だいぶん取り組みが進んできたと思う。
- 防災学習においては教育委員会に働きかけ動いて頂ければ、より良い物ができると考えている。
- 防災マップは作って配布すれば終わりではなく、活用を広げていく事が大事であり、そのために防災マップを理解できる人づくりを進めていくためにも「防災リーダーの活躍」が重要である。
- タイムラインづくりにおいては、定性的な判断ではなく、定量的なものさしをもって判断し、防災情報を共有することが大切である。
- 水害時は、足元に水がたまっていたり、流れがあつたりする。そのような水害を想定した防災訓練も実施してほしい。